

三重大学附属図書館報「学塔」

gakuto



2005.Autumn

No.116



クローズアップ

自著を語る「DNA複製の謎に迫る」

これだけは読んでおきたい

各学部必読図書

新サービス紹介

三重大OPACがリニューアル!

新データベース紹介

SciFinder Scholar, CiNii

FROM STUDENTS

インターンシップ体験記

特集

行きたくなる図書館



自著を語る



武村政春先生

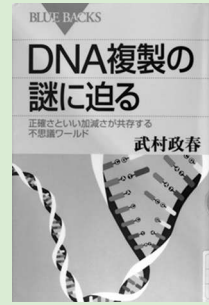
生命科学支援センター
助手

「DNA複製の謎に迫る」

：正確さといひ加減さが共存する不思議ワールド

〈講談社 ブルーバックス、2005.4〉

〔所在〕 図・展示棚、図・開架・図書 [請求記号] 464.27/Ta 63



本書は「DNA」をヒーロー、DNAの複製を担うタンパク質（酵素）である「DNAポリメラーゼ」をヒロインとして、DNA複製の謎に迫る知的冒険の入門書。生活感溢れるたとえ話とテンポのいい文章で読みやすく、専門外でもわかりやすいと好評です。著者の武村政春先生にお話を伺いました。

DNA最大の特徴は「複製」である

——まずは本の内容について教えてください。
DNAと聞いて何を想像しますか？「遺伝子」あるいは「DNA」不変のもの」というイメージが強いのではないのでしょうか。DNAの最大の特徴は、「複製」することですが、実は複製の過程で、意外と間違いが起こっているというところはあまり知られていません。DNAは不変ではないのです。その辺りのしくみを、これから分子生物学を研究したい高校生や、文系の方にも面白く読んでもらえるような本をめざしました。

DNAポリメラーゼの「正確さ」と「いい加減さ」

DNAポリメラーゼは「きわめて正確」に複製を行います。10万回に1回しか間違わない。ただしDNAは60億個(30億×2)もの塩基を持つから、それでも1回の複製で実に6万もの間違いを起す。

もちろんそのほとんどは校正されますが、いずれにせよDNAポリメラーゼは「きわめて正確」であると同時に「かなりいい加減」であるとも言えます。

この「複製エラー」は、発がんに大きく関与していると考えられています。個体レベルの生命にとって「複製エラー」は致命的な側面を持っている。しかしそれ以上に、「複製エラー」の積み重ねが、生物の進化と多様性に貢献してきたという側面も持っているのです。

人間とは何か？「複製」という生物学的現象から探る

——今後の研究について教えてください。
「複製」と聞いて何をイメージしますか？普通、コピー機を連想しますよね。コピー機の複製は、オリジナルとコピーの関係。ところがDNA複製は、オリジナルとオリジナルの関係。複製のたびにオリジナルとオリジナルの関係を複製のたびにオリジナルとオリジナルが少しずつ変わっていく。これは伝言ゲームみたいなもので、「ミーム」に代表されるような文化情報の伝播に似ています。現在の主要テーマは、発がん過程にDNAポリメラーゼがどう関わっているかを解明することですが、それに加えてDNA↓細胞↓個体↓社会というミクロからマクロの世界までを視野に入れ、「生物とは何か、人間とは何か」といった問いに対して、「複製」という生物学的現象

をもとに、文系理系の枠を超えてその答えを探っていきたいと考えています。

本は情報収集の手段

——文章の面白さは、これまでの読書体験の影響でしょうか？

面白いと言っていただけるととても嬉しいですが、小説はほとんど読みません。本はどちらかというと、情報を得る手段。本の収集には熱心で、文章を書くうえで必要になった時に何冊も読み、あるいは斜め読みします。子どもの頃から「ゲゲの鬼太郎」などのマンガは好きでしたね。

新しい学問分野を切り拓いてほしい

——三重大学生へのメッセージをお願いします。
「自分が新しい学問を創るんだ。」という気概を持つてほしい。勉強というのはあくまで既存の知識を得ること。だから学校の勉強ではちょっと躓(つまず)いたり、間違えてみたりしてもいい。その先を見つめることが大事なんです。そういう風に考えれば勉強も研究も楽しめるのではないのでしょうか。
図書館には、学生向けの本を充実させて欲しいですね。

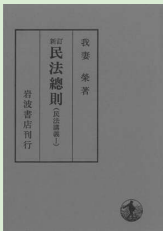
●武村先生をもっと知りたい方は●

<http://www.lsrc.nie-u.ac.jp/human/takemura/>

READING * LIST

これだけは読んでおきたい

人文学部 名島利喜先生おすすめ！



我妻 榮著「民法總則」 岩波書店、1965 [324/W 14/1]

真に優れた法的思考が基礎にある古典的な名著です。バランスのとれた利益衡量の仕方と結論を導く論理が、随所にちりばめられています。刊行から40年経ったので、内容はかなり古いものだし、難しく読み通すには歯ごたえがありすぎるかも知れません。それでも、じっくり腰を据えて少し読み込んでいくと、論理的な思考の訓練になるはず。気の向くままに頁をめくだけでも、学問という営みに触れることができるでしょう。

教育学部 山根崇次先生おすすめ！



山根崇次ほか編著「個の育成をめざす21世紀の生活科・社会科・総合の授業づくり」 黎明書房、2002 [375.3/Ko78]

本書は、社会科を中心とした授業づくりの方法と、授業実践の記録、校内研修における授業研究・分析の方法を示したものである。授業づくりの方法を述べるに当たっては、どんな社会科の授業が目標とすべき優れた授業なのかという要件を明らかにしておく必要があるが、本書ではその要件を抽象的にのみでなく具体的に示している。そして、それらの要件にあった授業の実例を学年別、分野別に、かなり詳細に紹介している。じっくりと読んで欲しい本である。

医学部 中野正孝先生おすすめ！



中野正孝ほか訳「論文が読める！早わかり統計学：臨床研究データを理解するためのエッセンス」 メディカル・サイエンス・インターナショナル、2005 [490.7/N 96]

エビデンスを重要視する研究の場合、統計的記述は避けられませんが、統計学が好きで、得意であるという人は多くはないでしょう。さらに、自らが統計的に研究を行わないまでも、統計的にまとめられた文献を読むことが必要になります。原著者の序文にありますように、本書は統計学の入門書を意図したものではありません。つまり、本書の大きな目標は、計算に強くなり、統計的な論文が書けるようになるということではなく、統計学を使った論文を批判的に読めるようになるということです。

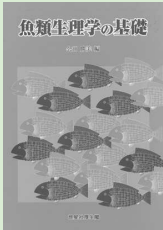
工学部 清水 真先生おすすめ！



日本化学会編「化学ってそういうこと!?夢が広がる分子の世界」 化学同人、2003 [430/Ka16]

この本は化学のことを良く理解し、好きになってもらいたいという願いを込めて、化学とはどんな学問か、化学の基礎知識、身の回りの現象やさまざまな化学製品、環境や資源・エネルギー、生命と化学、未来の化学について、写真や図を豊富に用いてかなり平易に説明してあります。また、ノーベル化学賞受賞者からのメッセージも載せられており、これから化学を理解し育てていこうと考えている人への入門書として最適な1冊です。

生物資源学部 吉岡 基先生おすすめ！



会田勝美編「魚類生理学の基礎」 恒星社厚生閣、2002 [487.51/G 99]

本書は、1977年に出版された「魚類生理学概論」にかわる魚類生理学の新たな教科書・参考書として、2002年に発行された。25年の時間を経て出版された本書には、この間に著しく進展した魚類生理学に関する見解が、総論、神経系、呼吸・循環、感覚、遊泳、内分泌、生殖、変態、消化・吸収、代謝、浸透圧調節・回遊、生体防御の12の章に分けてわかりやすく解説されている。図や写真、文献なども多い。魚の体内でおきていることを体系的に学べる専門書としておすすめの書である。

共通教育 尾西康充先生おすすめ！



北村透谷研究会編「北村透谷とは何か」 笠間書院、2004 [910.26/Ki 68]

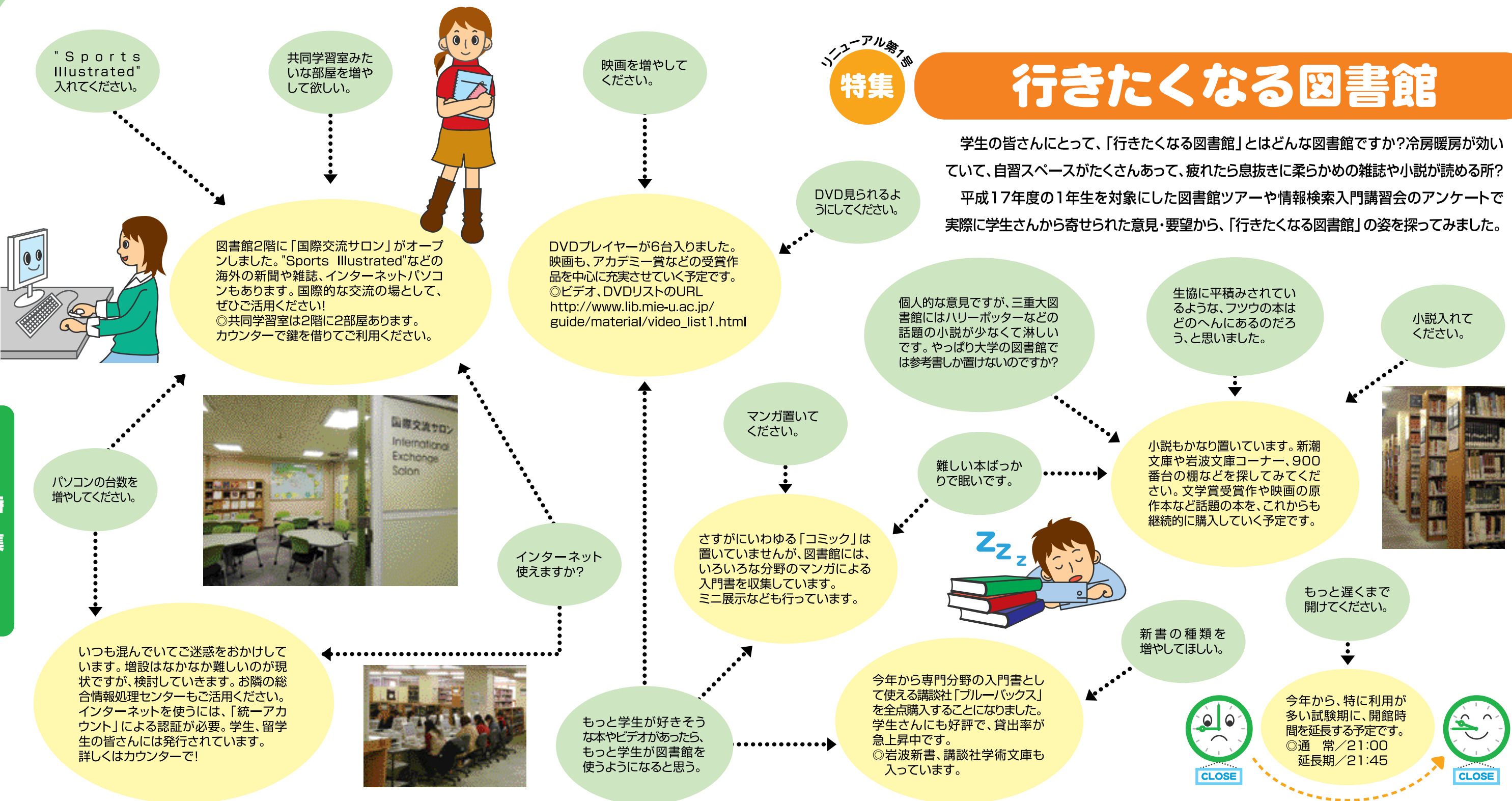
明治文学を代表する作家北村透谷は、文明開化を急ぐ近代日本を批判した。「漫罵」という評論の冒頭、築地居留地に在住する外国人に欧化政策の進展を示すために急造した銀座煉瓦街が描かれている。透谷が「移動の時代」と呼んだ明治時代の問題をとらえてほしい。

※全て図書館開架(1階の学生用図書の本棚)に番号順に置いてあります。

リニューアル第1号
特集

行きたくなる図書館

学生の皆さんにとって、「行きたくなる図書館」とはどんな図書館ですか？冷房暖房が効いていて、自習スペースがたくさんあって、疲れたら息抜きに柔らかめの雑誌や小説が読める所？平成17年度の1年生を対象にした図書館ツアーや情報検索入門講習会のアンケートで実際に学生さんから寄せられた意見・要望から、「行きたくなる図書館」の姿を探ってみました。



大学図書館のミッション

- 1.大学の講義や、教養を身につけるために必要な資料・情報を集め、提供すること
- 2.自学・自習の場所と環境を提供すること

大学の図書館は、まずは学習や研究に必要な資料・情報を提供することが第一に求められています。また、最近では図書館にわざわざ足を運ばなくても使える、ネット上のサービスも増えてきました。それでも「行きたくなる」魅力的な図書館を、学生さんの意見を取り入れながら目指して行きます。

2005年秋の情報リテラシー講習会(予定)

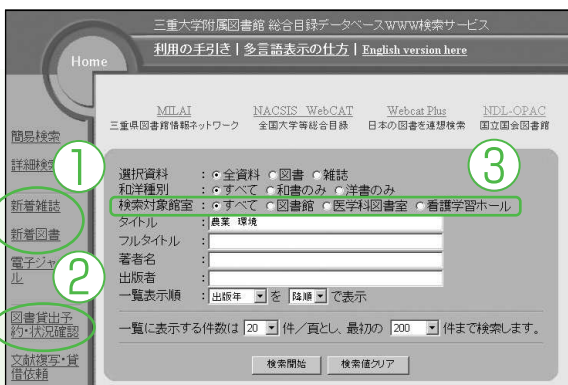
- 時間/10:30~12:00 ●場所/図書館吹抜階段2階 Web-Frontier ●定員/各回14名さままで
 - 国内文献検索講習会：10月17日月~21日金
 - 海外文献検索講習会：10月24日月~28日金
 - プレゼンテーション入門：11月7日月~11日金
 - 研究室・講座単位などで日時や内容をカスタマイズできる、オーダーメイド講習会も随時受付中です。
[申込先：情報リテラシー係 literacy@ab.mie-u.ac.jp]
- 2005年秋の新メニュー。プレゼンのコツを説明し、Power Pointの作成を実習します。

NEW

新サービス紹介

三重大OPACがリニューアル！

2004年12月にOPACがリニューアルしました。機能も追加されています。



◀ 検索画面

- ① 新着図書、新着雑誌の一覧を見ることができます。
- ② 図書貸出予約・状況確認がWeb上で行えます。
(要Webサービスの登録)
- ③ 検索対象館を絞り込んで検索できるようになりました。

▶ 図書詳細情報

- ① 館内マップが表示できるようになりました。
- ② 図書詳細情報画面から本の予約をすることができるようになりました。
(要Webサービスの登録)



◎ Webサービスの登録をしてみませんか？

登録をさせていただきますと、便利なサービスが利用できます。

- Web上での図書の予約
 - Web上での文献複写・相互貸借の依頼
 - 返却忘れメールの受信
- 図書館貸出カウンター、医学科図書室にて登録を受付しています。

TOPIC

図書館では各種データベースのリーフレットを作成しました。ぜひご活用ください。

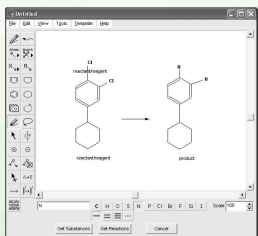
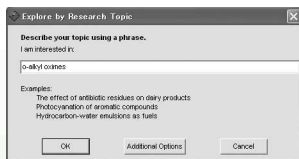
- ・三重大大学OPACの使い方 本を探してみよう！
- ・三重大大学OPACの使い方 雑誌を探してみよう！
- ・CiNiiで論文を検索してみよう

NEW

新データベース紹介

化学系データベース SciFinder Scholar

キーワード検索



一般的なキーワード検索以外に、化学反応や分子式・構造などでも物質の検索ができます。

詳細情報
検索結果リストから詳細情報や本文が見られます。
本文リンク

Aza-Reformatsky-type reaction of α -iodomethyl ketone O-alkyl oximes promoted by titanium tetraiodide

Makoto Shimizu* and Tadahiro Toyoda
Department of Chemistry for Materials, Mie University, Tsu, Mie 514-8507, Japan. E-mail: mshimizu@chem.mie-u.ac.jp Fax: +81 59 231 9413

Received 23rd July 2004, Accepted 3rd September 2004
First published on the web 16th September 2004

Titanium tetraiodide promotes an aza-Reformatsky-type reaction of α -iodomethyl ketone O-alkyl oximes with carbonyl compounds to give β -hydroxy ketone O-alkyl oximes in good to high yield.

Since the introduction of metallo-enamines (aza-enolate) by the groups of Stock,^{1,4} Wang,⁵ and Corey,^{3,6} the power of these species has eliminated several drawbacks associated with the alkylation of enolates.¹ Aza-enolates are usually generated by deprotonation of the parent amino species with strong bases. Although reductive generation of enolates from α -halo carbonyl compounds has eliminated some drawbacks as exemplified in the Reformatsky-type reactions, e.g. the reactions can be conducted in the absence of strong bases, the generation of aza-enolate via the reduction of α -halo imino species² has received little attention. We have already reported a Reformatsky-type reaction using TiI₄ as a reducing reagent for α -iodo ketones.⁷ In that reaction, the reducing ability and the Lewis acid

Detail of Reference 1

Bibliographic Information

Aza-Reformatsky-type reaction of α -iodomethyl ketone O-alkyl oximes promoted by titanium tetraiodide. Shimizu, Makoto; Toyoda, Tadahiro. Department of Chemistry for Materials, Mie University, Tsu, Japan. Organic & Biomolecular Chemistry (OBC), 2(20), 2891-2892. CODEN: OBCRAK. ISSN: 1477-0520. Journal written in English. CAN 142:37680 AN 2004 832298 CAPLUS

Abstract

Titanium tetraiodide promotes an aza-Reformatsky-type reaction of α -iodomethyl ketone O-alkyl oximes (ICH₂CR¹NOR² (R¹ = Me, Ph, R² = Me, PhCH₂) with aldehydes R³CHO (R³ = Ph, 4-ClC₆H₄, PhCH₂CH₂, PhCH₂CH₂, etc.) to give β -hydroxy ketone O-alkyl oximes: R³CH(OH)CH₂CR¹NOR² in good to high yields.

Indexing - Section 21-2 (General Organic Chemistry)

Oximes
Role: RCT (Reactant), SPN (Synthetic preparation), PREP (Preparation), RACT (Reactant or reagent)
[O-alkyl, prepn. of β -hydroxy-O-alkyl oximes via Ti4-promoted aza-Reformatsky-type reaction of O-alkyl iodomethyl oximes with aldehydes]

Reformatsky reaction
Reformatsky reaction catalysts
(aza, prepn. of β -hydroxy-O-alkyl oximes via Ti4-promoted aza-Reformatsky-type reaction of O-alkyl iodomethyl oximes with aldehydes)

Aldehydes, reactions
Role: RCT (Reactant), RACT (Reactant or reagent)

Windowsの2006年バージョンがリリースされました。図書館ホームページから検索ソフトをダウンロードしてご利用ください。

CiNii[サイニイ] (NII論文情報ナビゲータ)

CiNii [サイニイ] は論文を検索するデータベースで、NACSIS-IRの後継サービスです。

簡単検索

表示件数: 25 | 表示順: 出版年(新しい順) | 検索 | クリア

詳細検索

表示件数: 25 | 表示順: 出版年(新しい順) | 検索 | クリア

検索対象: 論文名 | 著者名 | 雑誌名 | ISSN

検索語: 明治 形成 | 津村 漁業

検索語の組合せ: すべて含む | どれか含む | すべて含む | すべて含む

検索対象: FROM | TO

AND | OR | NOT

詳細情報

収録誌名/引用情報: 論文ID110001021180

本文言語コード: JPN

著者名: 長谷川健二

所属: HASEGAWA, Kenji | 三重大学生物資源学部 | Faculty of Bioresources, Mie University | 伊勢湾漁村の形成と漁業 明治期の三重県を対象として

論文名: Formation of Fishing Villages and Fisheries in Ise Bay - Case Study on Fishing Villages in Mie Prefecture in the Meiji Era

雑誌名: 三重大学生物資源学報紀要 (ISSN 09150471)

出版事項: Bulletin of the Faculty of Bioresources, Mie University (ISSN 09150471)

巻号/ページ/出版年: 巻号 29 / ページ 31-46 / 出版年 20021100

出版者: 三重大学 | Mie University

著者キーワード: shore seine fishing / Meiji Era / Hokuriku area / Chuzai area / Nansai area / fishing villages / Ise-Bay

収録DB: NII-OPAC

本文リンク等: **本文リンクあり**

所属: Hasegawa

三重大学情報学誌
第29号, 31-46
平成14年11月15日

伊勢湾漁村の形成と漁業
—明治期の三重県を対象として—

長谷川 健二
三重大学生物資源学部

Formation of Fishing Villages and Fisheries in Ise Bay
—Case Study on Fishing Villages in Mie Prefecture in the Meiji Era—

Kenji HASEGAWA
Faculty of Bioresources, Mie University, 1513 Kawaharacho, Tsu, Mie 514-8507, Japan

Abstract

In this paper, we analyze the development of fishing in Ise Bay, and the formation of fishing villages in the Meiji Era. The Meiji Era is the period before the Taisho-Showa Era when Japanese fishing and fishing villages underwent rapid development. By studying the fishing of Ise-Bay in the Meiji Era, and formation of fishing villages, the conditions of development of Ise-Bay's fishing can be clearly shown. We study the following in this paper.

(1) In the Edo Era, fishing villages were formed early in the Isebay area. These fishing villages were different in the conditions of agriculture. In such Isebay, fishermen had already caught fishes in the offshore fishery of Aichi Prefecture in the Meiji Era, and they have continued catching fishes for over 100 years.

検索語をいろいろ組み合わせることができます。

「本文リンクあり」の場合は本文をWeb上で読むことができます。

「本文リンクなし」の場合は論文収録雑誌名で「三重大OPAC」を検索してください。



インターンシップを体験して
 教育学部3年 脇出素代

きっかけは「大学ってどんな風に運営しているんだろう」と思っていた事でしょうか。掲示板で三重大学でインターンシップができること知り、良い機会だと思い応募しました。今回附属図書館での研修が含まれていたのも魅力的でした。デジタル化が進む今日、大学図書館の役割の変化に、興味を感じていました。目録のデータベース化、他大・学との相互貸借、地域貢献等の業務を通じ、新しい事に挑戦されている様子が窺え、感銘を受けました。

とても有意義な経験をさせて頂き、ありがとうございました。最後になりましたが、お忙しい中、受け入れて下さった関係部署の方々に、御礼を申し上げます。

News!

◎東海・東南海・南海地震シンポジウム開催

- ◆場所：名張市役所 大会議室
- ◆日時：平成17年10月22日(土) 13:30～16:45 (展示は12:00～)
- ※詳細：図書館ホームページをご覧ください <http://www.lib.mie-u.ac.jp/>



江戸の地震
 鯨絵展示!

鯨絵「生捕ました三度の大地震」(三重大学附属図書館所蔵)

展示図書コーナー新着図書 (2005年1月～6月発行分)

- 尾西康充(共編)人文学部助教授/田村泰次郎選集 Vol.1～5 日本図書センター, 2005.4 [913.6/Ta 82/1～5]
- 佐藤義則(共訳)人文学部教授/図書館の価値を高める: 成果評価への行動計画 丸善, 2005.2 [013.5/H 53]
- 西川 洋(執筆)人文学部教授/三重県議会史 第五巻 三重県議会, 2005.2 [093.184/Mi 15/5]
- 朴 恵 淑(共著)人文学部教授/知っていますか? 地球を救う暮らし方一問一答 解放出版社, 2005.3 [519.58/B 63]
- 滝口圭子(執筆)教育学部助教授/はじめて学ぶ幼児教育 ミネルヴァ書房, 2005.5 [376.1/H 16]
- 足立幸彦(著)医学部教授/テツトルーナ: C型肝炎脂肪性肝炎(NASH)治療食レシピ集: 鉄制限食のすすめ 昌栄印刷, 2005.6 [493.47/A 16]
- 中野正孝(共訳)医学部教授/論文が読める! 早わかり統計学 メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2005.1 [490.7/N 96]
- 横山和仁(編著)医学部教授/POMS短縮版: 手引きと事例解説 金子書房, 2005.1 [146.3/Y 79]
- 富岡義人(訳)工学部助教授/ライト=マンフォード往復書簡集: 1926-1959 鹿島出版会, 2005.6 [523.0253/R 12]
- 船岡正光(編著)生物資源学部教授/緑のループ: 森林資源循環活用フォーラム記録集 森の風プロジェクト, 2005.1 [658.4/F 89]

*** 編集後記 ***

「学塔」は1973年の創刊以来115号まで発行して参りましたが、法人化を機に、より分かりやすく魅力的な広報誌を目指して刷新しました。新しい「学塔」では、学生・教員の皆さまを対象に、学習・教育支援、研究支援の基盤となる学術文献・情報に関するトピックスを「春・秋」の年2回お届けします。出っぱなしにならない、双方向性があって役に立つ誌面作りを目指していきます。学生・教員の皆さまからの投稿やご意見をお待ちしております。

なお、学外の方向けの情報は広報室発行の「三重大X(えっくす)」誌でお知らせしていく予定です。

- 表紙の写真：図書館新名物「教育の神様」可愛いフクロウが玄関ホールに設置されました。宮田修平先生(三重大学名誉教授、金属工芸作家)より2005年8月にご寄贈いただきました。